

〈隸書〉



山本飛雲先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする)

半折作品は各課題ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉



井之上南岳先生書

□ 飛鳴して聲は群れを念ふ

(唐・杜甫)

次号予告「落日澹合千嶂雪 斜風寒送一帆烟」

〈行書〉

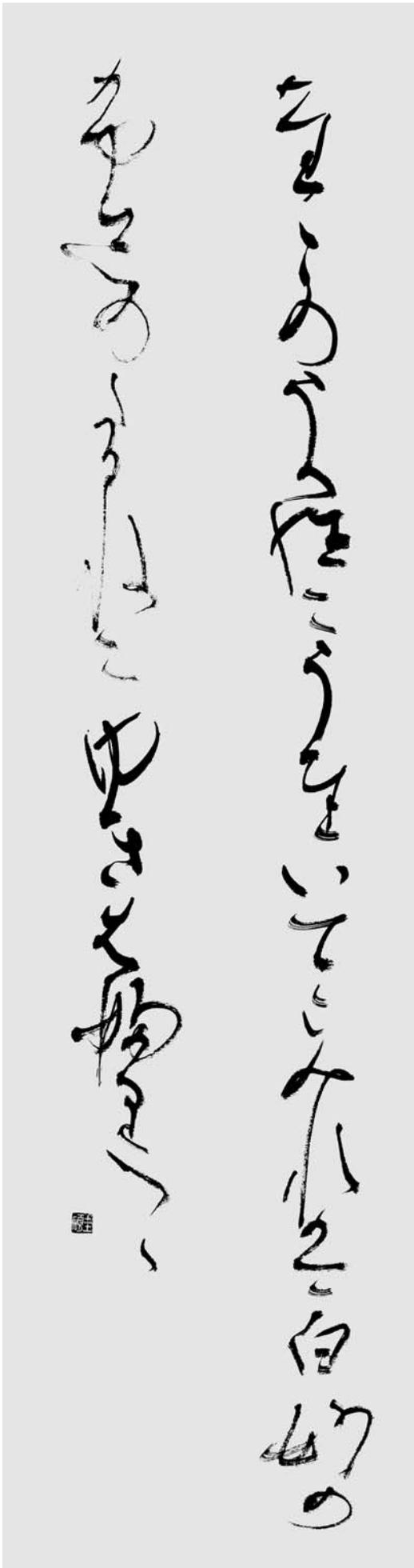


清原大龍先生書

▽空を飛んで鳴きたて、その声は仲間のことを思っている。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



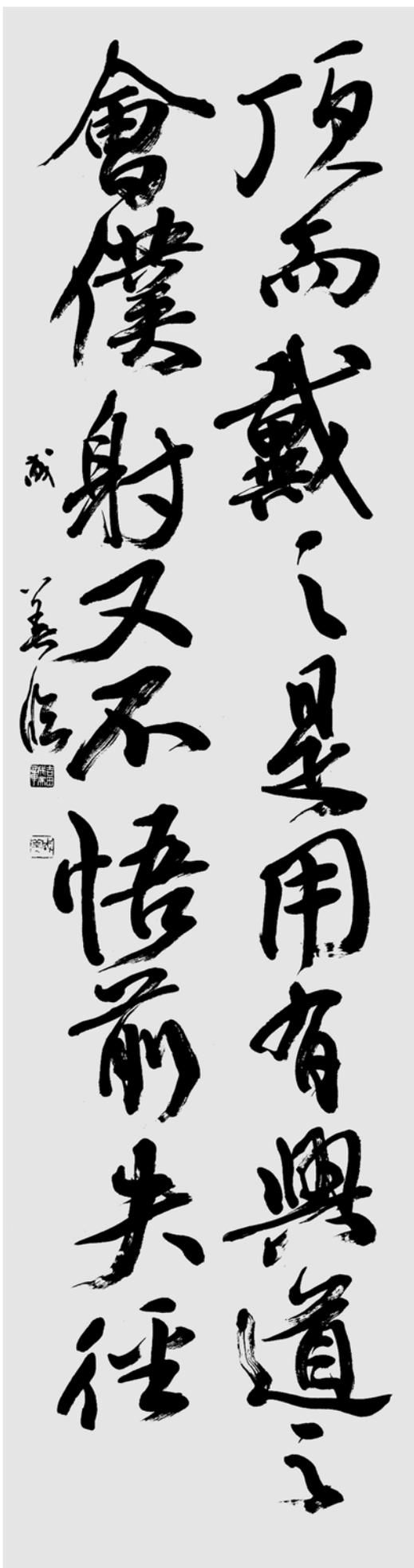
□ 堂このう羅二 うち遅いて、みれ盤 白妙の 布志の多可ね二 ゆき者婦里つ、

田子の浦に うちいでて見れば 白妙の 富士の高嶺に 雪はふりつつ

〈百人一首四〉

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

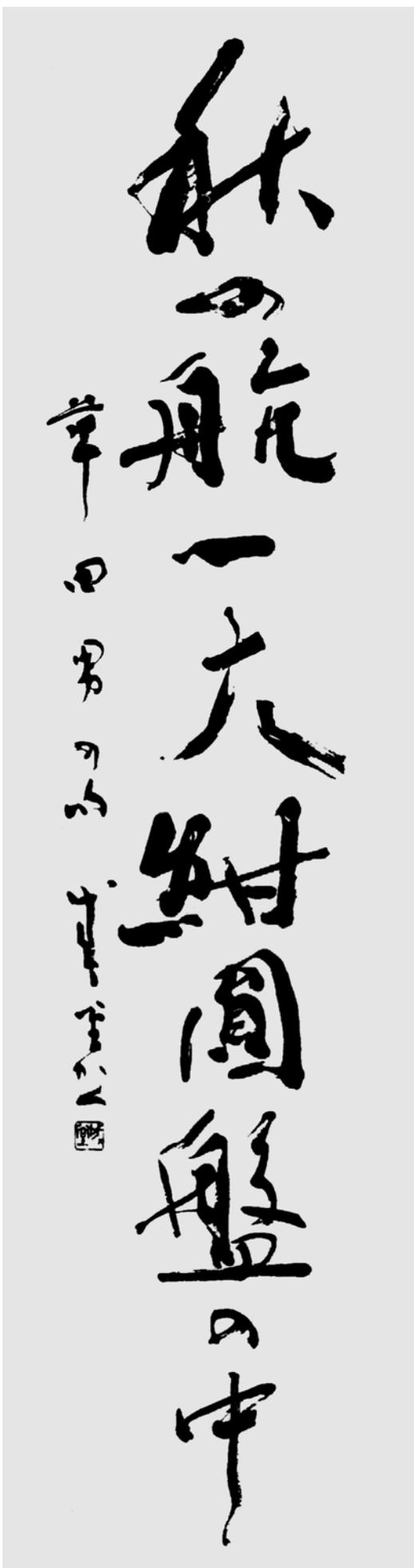


▽争坐位文稿

頂而戴之是用有興道之會僕射又不悟前失徑

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□ 中村草田男の句 秋の航一大紺円盤の中

△手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課題ごとに横一枚ずつたんで提出ください。

条幅 随意参考手本（半折½縦のみ） —11月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

□ 寺山修司のことば

ふり返るな 後ろに夢はない

兼毫筆で、少し細めの強さを活かそうとしてみました。漢字が三字しかありませんので、仮名に細太をつけて表情を付けて下さい。



小 畠 秋 聲 先 生 書

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） —11月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 柏葉壽（『武平』） — 柏葉の壽 —
常緑のかしわのような長寿。長い命（よわい）。めでたい言葉。
伝統的な印の使い方も学んでほしい。（印・吉野松石先生）

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 落雁沙渚に迷う (唐・孟浩然)
雁は砂浜に降りる場所を求めて迷う、雪の風景。

次号予告「皎夜千樹寒」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 落雁沙渚に迷う (唐・孟浩然)
雁は砂浜に降りる場所を求めて迷う、雪の風景。

次号予告「皎夜千樹寒」

吉田成美先生書

半紙 随意 参考 手本 —11月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



□適 意 意に^な適う (「晋書」張翰伝)
人生、自分の心になうようにするのがいちばんよい。

次号予告「萬 祥」

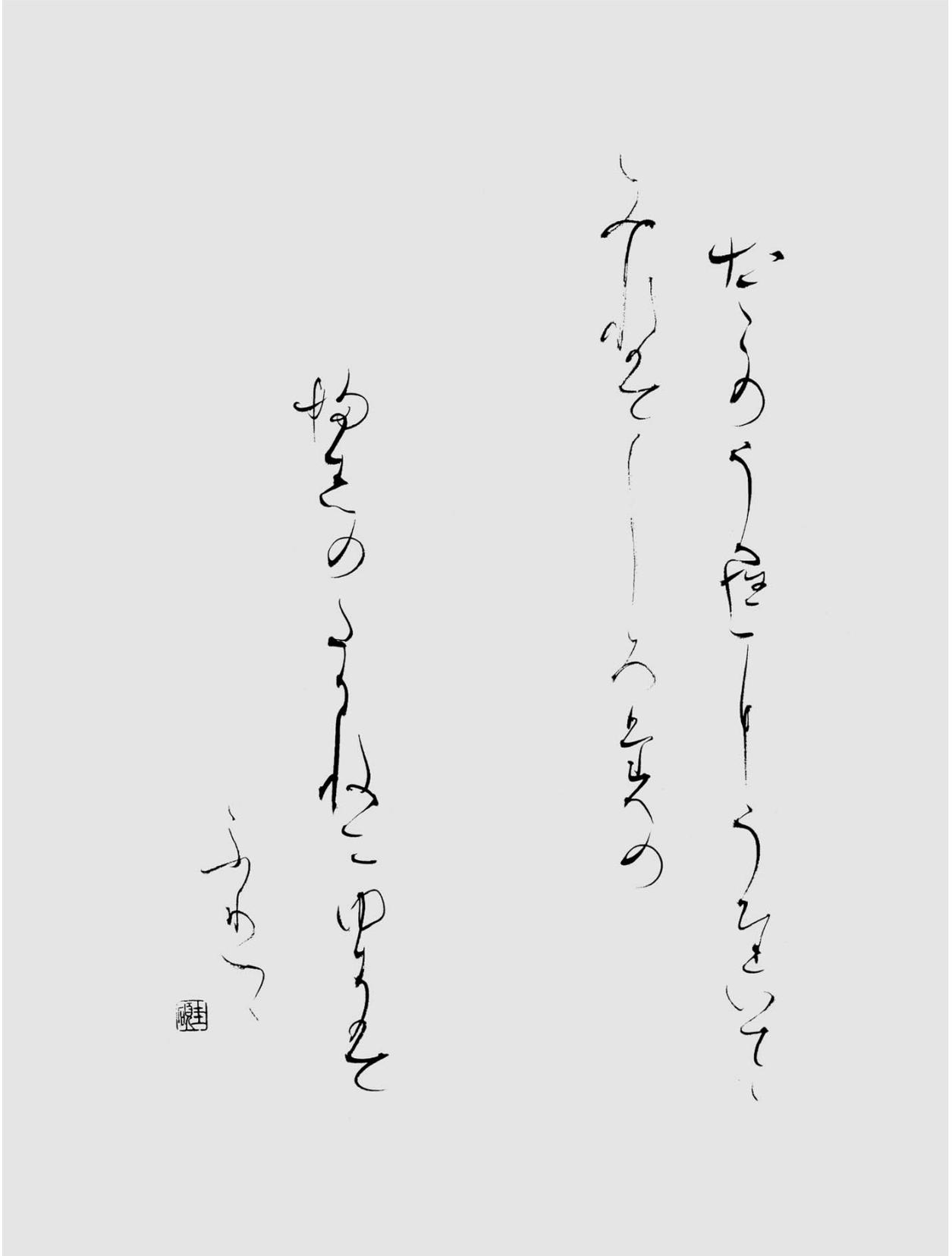
渡 邊 大 嶽 先 生 書

半紙 随意参考手本 —11月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

田子の浦に うちいでて見れば 白妙の 富士の高嶺に 雪はふりつつ



□ たこのうらみ^ら 耳^に うちいでて、みれば^は しろ堂^たへの 婦志^{ふし}の多可^{たか}ね二^に ゆ支^き盤^はふりつつ、 △百人一首四▽

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

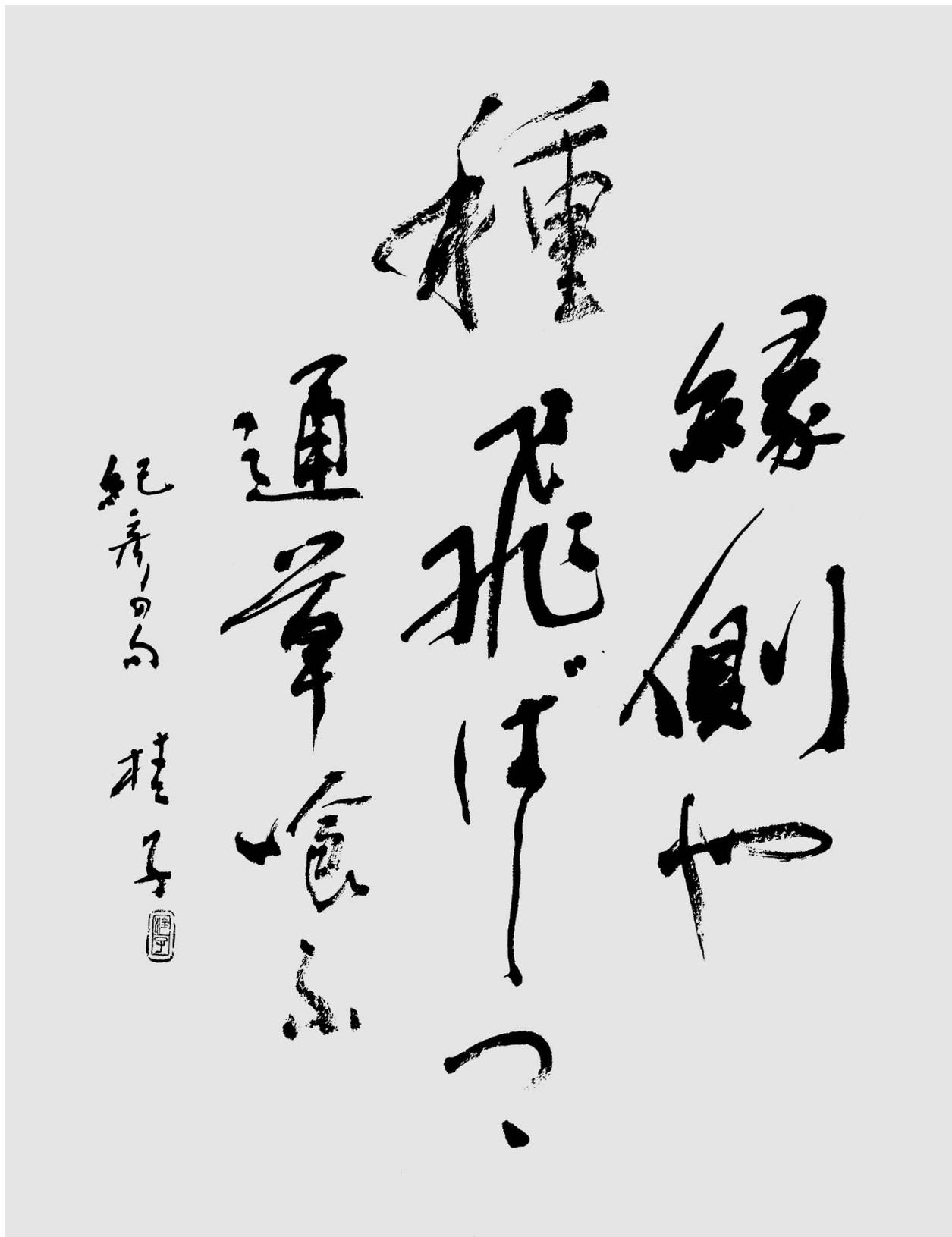
縁側や

種飛ばしつ

通草喰ふ

△小林紀彦の句▽

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)



大坪桂子先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽
画から画への流れや気脈に心がけ、強さの中にも動きを込めよう。



「曾不顧百寮之」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

紅葉の市
 錦の衣
 深秋の候
 霜枯れの庭
 落ち葉
 さざんか
 向寒のみぎり
 初雪の便り

姓 号	時雨	酉の市	落ち葉	紅葉
	つわぶき	牡蠣	さざんか	錦の衣
	初雪の便り	霜枯れの庭	向寒のみぎり	深秋の候

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

银杏の葉が美しく色づく季節と
なりました本日の毎朝新聞にあなたの
お名前を拝見しました立派な活動と
やっていたのぞすね頭が下がりますとも
うれしくなりました
さち子

银杏の葉が美しく色づく季節となりました 本日の毎朝新聞にあなたのお名前を拝見しました
立派な活動をされていたのでね 頭が下がります とてもうれしくなりました 思わずペンをとりました さち子

藤井美相先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書言

△暮らしに役立つ書▽

風の冷たさに冬の到来を感じる日ですが、
皆様お元気で過ごしてください。

先日は美味しみかんを送っていたとき、家族
一同大喜びで、早速毎晩炬燵でみかんという
冬の醍醐味を楽しんでいます。

それに対抗しとさうわけではありませんが、
別便で地元産のりんごを送らせていただきました。

どうぞお楽しみください。

か

野のある便箋に書いてみよう。

△26 cm × 18 cm▽

紙質は自由。

・物に託して心を贈るのが「贈り物」ですが、同時に、昔は（パソコンがない…）添えられた手紙の文字にも人の心を感じたに違いありません。手書きの時、この手紙文こそは、じっくり書こうと心に留めています。時間に追われて急ぎがちなものは…やはり良くないですね。どうぞ心落ち着けて、ゆっくり皆さんも頑張ってください。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

新しい日

小学4年

大きな力

小学3年

きずな

小学2年

みち

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

故郷の空

中学2・3年

真の勇士

中学1年

大切な命

小学6年

馬の親子

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼||四尺画仙紙半折¼: 68cm×17.5cm▽

ようねん・小学一年

次号予告「ゆみ」



□ ふでだけをまわさず、うで全体で、元気よくのびやかに書きましょう。

小学二年

次号予告「よろこび」



□ だく点や「ハネ」はゆっくりしていねいに書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「光るにじ」



□ 漢字は始筆や線の強弱をはっきりとつけ、ひらがなは流れや懐の広さに注意して書こう。

小学四年

次号予告「世界の子」



□ 「日」は線の強弱・おれに注意し、「新」は字形をや、広めにとり横画の長短に注意しよう。

吉田成美先生書

小学五年

親子

次号予告「強い信念」

□「親」はまの横画の長さの違いをよく見て！「子」は最終の横画の位置が大切ですね。

小学六年

大切な命

次号予告「希望の春」

□左右の「ハライ」が多いですが、ゆっくり書くことが大事。のびのびと書きましょう。

小 畠 秋 聲 先 生 書

中学一年

真勇士の

次号予告「世界紀行」(行書)

□書は書く人の気持ち大切です。楽しく堂々とした気持ちで書けば更により作品になる。

中学二・三年

故郷

次号予告「創造する喜び」(行書)

□自分の気持ちを大事にし全体のバランスを考えリズムにのった力強い行書を書こう。

清 原 大 龍 先 生 書

